

Kandai Style

2018.3 Vol.466

関西大学通信

卒業記念特別号



卒業記念特集

10年後の私に贈る メッセージ

法学部 柘井 沙也佳 さん

家庭も仕事も充実させたいと思っています。家庭と仕事の両立を考えて就職活動をしました。卒業後は市役所に勤める予定です。10年後はいくつかの課を経験しているかもしれないので、その過程でどの課に異動しても恥ずかしくない、カッコいい女性になりたいと思います。また、仕事の仲間と切磋琢磨しながら仕事に励み、毎日を楽しんでほしいです。友達とカフェや旅行に行くことがリフレッシュになるので、社会人になってもみんなと会いたいです。この通りにならなくてもその時の自分が納得していたらそれで幸せだと思います。

法学部 山本 博俊 さん

県庁職員となり、多くの部署内で異動もあるかと思いますが、どんな部署に配属されても、携わった分野について最も詳しい人物になりたいと思います。入学前から法律に興味があったので法学部に入学しました。1年次に入った法律相談所(学術研究会)で、法をつかさどるより施策や制度を考えるほうが自分にあっていると感じ、公務員を目指しこれまでがんばってきました。人の役に立ちたい、そんな仕事に携わりたいという気持ちでこれからも勉強に励み、スキルアップして行ってほしいです。

商学部 出口 理紗子 さん

10年後の私がどうありたいか考えたときに思い浮かんだのは、人との出会いを大切に、たくさんの人と交流を深めていきたいということです。私はもともと引っ込み思案な性格ですが、関大への入学を機に一人暮らしをはじめ、少しずつ変わりました。関大にはさまざまな場所から多くの学生が集まっているので、学生生活を通していろいろな人と出会って仲良くなれたのがうれしいです。30代は社会人として経験を積み、後輩に頼られる先輩になりたいです。また、仕事と家事を両立し、心地よい暮らしのできる素敵な大人女子を目指します。

商学部 高野 和仁 さん

1年次に受講した講義で、公認会計士について話を聞いたのをきっかけに、2年次から本格的に試験勉強をはじめました。卒業後は監査法人への就職が決まっています。今は、社会人として、仕事にチャレンジできることにわくわくしています。就職後の3年間はIT監査と会計監査を兼務する予定で、大変かもしれませんがとにかく全力を尽くしてしっかりと仕事に取り組み、知識と経験を身に付けたいと思っています。そして、10年後には一人前の強みを持った公認会計士になりたいと思います。

卒業記念 特集

10年後の私に贈る メッセージ

関西大学を卒業後、
新たな道へと進んでいく4年次生が、
未来の自分に向けたメッセージを贈ります。

文学部 福市 彩乃 さん

ジャーナリーの法則にもあるように、10年後の私は時の過ぎゆく早さに驚いていると思います。今の私は、10歳の頃に夢になっていた創作作品に、再度のめり込んでいます。過去の作品を昔とは違う視点で見て、そこに新たな知識を加味することに面白みを感じています。未来の私に、「前に進むのも良いですが、たまには過去を振り返ってみてください。今の私が挑戦していることを、懐かしく感じ楽しめると思っています。大胆かつ慎重に、そして時には狡猾に。座右の銘を忘れず精進してください」と伝えたいです。

文学部 鬼束 崇寛 さん

図書館司書を目指して関大生になりました。もともと、人と話をしたり文章を書いたりするのが苦手だったので、関大で能動的に学ぶようになってから文章を書くことで自分を表現する楽しさを知ったような気がします。それまでの自分と“学ぶ”ことへの姿勢が変わりました。10年後の私は、司書という仕事を通して、学校の授業が退屈だと感じている子どもたちに、学校の授業だけが学びではないんだと、学ぶことの楽しさを伝えられる自分になりたいです。

政策創造学部 栗生 和将 さん

思い描く将来像が仕事では三つ、夢が一つあります。まず仕事では、就職した企業で最短10年のキャリアで副支店長に就くことができるので、それを目指したいと思います。二つ目は資格を取り、士業といわれる仕事に就いて将来的に独立。三つ目は教員です。中学・高校の社会科の教員免許を取得したので教師の道も考えています。私生活では結婚して子どもが2人くらいいたらいいと思います。夢については学習塾の開業です。人に教えることが好きで塾講師のアルバイトをしていました。その経験を生かして、勉強だけでなく付加価値を付けた指導ができるようになりたいです。

社会学部 井上 朋子 さん

卒業後、社会人として多くのことを学び身に付けながら、30代では自分のやりたいことを見つけて実現していきたいです。結婚もしたいですし、10年後の私が楽しく生きていけばいいなあと思います。3年次に、初めての海外旅行でフィンランドを訪れました。街並みの美しさや雑貨のかわいさが印象的で、大好きな国になりました。趣味のカフェ巡りでは、居心地の良いカフェを探して街を歩きます。フィンランドとカフェ巡りが好きなので、いつか北欧をコンセプトにした自分のカフェを開きたいと夢を描いています。

経済学部 矢野 媛子 さん

子どものように好奇心を持って、いろいろなことにチャレンジし続けてほしいと思います。幼い頃から今まで、興味があることにチャレンジしてきました。経験したことがないことや知らないことに対して魅力を感じます。ただ、やみくもにチャレンジするのではなく、興味があるものの中から吟味して、調べて行動に移すという慎重な面もあります。10年後には結婚をして子どももいて仕事もしていて、社会や時間、考え方の枠があるかと思いますが、そんな枠にとらわれず変化し続けたいと思います。

経済学部 小出 友希 さん

卒業後は航空運輸業界に進みます。10年後は海外で働く機会も増えていると思うので、それまでの日本での経験を生かし、日本のみならず海外の人のためになる仕事をしてほしいと思っています。幼い頃から運動をしてきましたが、けがをして体が動かせなかった時、運動以外でがんばれることはないかと考え、苦手な英語に挑戦しました。留学生寮に入寮し、海外旅行も経験。この時利用した飛行機という乗り物が、自分の新たな可能性や世界を広げてくれました。世界を舞台にたくさんの人に貢献できる仕事をしてほしいと思います。

政策創造学部 朝比奈 孝佳 さん

小学1年生から続けてきたサッカーに、何かしらの形で関わってほしいと思います。サッカーは10年後ならずとも自分の人生に欠かせません。もし自分に子どもがいたらもちろんサッカーをしてほしいです。体育会サッカー部には6チームありますが、その1チームで務めたキャプテンという役割。チーム内で温度差があり、まとめるのに苦労しました。今までの経験が一番つらいことでしたが、仲間と協力して乗り越えることができたと思います。この経験を共に過ごした仲間と10年後も共有しあっていたいと思います。

社会学部 吉田 みなみ さん

東日本大震災の報道を見聞きしたのをきっかけに、中学生の頃から新聞記者になる夢を追い掛けて生きてきました。その中で、関大に入学することを決めて、夢がかないました。これからの私は夢をかなえて終わりではなく、緻密な取材の中で、見逃されそうな小さな声を拾っていきけるような記者になりたいです。一人前になるのに時間のかかる職業なので、常に新たな目標を見つけてスキルアップし、社会人として仕事を全うする自分でありたいと思っています。



外国語学部 山本 拓巳 さん

海外留学で培った英語力を生かせる仕事を希望し商社への就職を決めました。就職先企業では、社員の1/3以上が入社3年目頃から海外赴任となるので、10年後の私もきっと商社マンとしてどこかの国でバリバリ働いていると思います。プライベートでは、20代で結婚して子どもを持ち、私の家族のように仲の良い幸せな家庭を築くことができたらと思います。10年後の自分に「良いパパになっていますか?」と呼び掛けたいです。

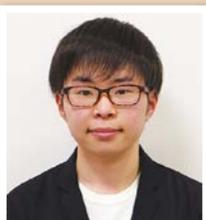
外国語学部 水舟 彩子 さん

就職先は、学部のクロス留学で培った英語と中国語の語学力を生かせる、商社に決まっています。ボランティア活動に興味があり、これまでフィリピンや台湾などで多くの人々と交流を深めました。社会人経験をボランティア活動に生かしたいと考えているので、休暇を利用してアジアやアフリカの国々を訪れ、経済的支援につながるような持続可能な活動を行っていかれたらと思います。そして、仕事とプライベートのメリハリをつけて、余裕のある大人の女性になりたいです。



総合情報学部 小西 香穂 さん

この4年間で目指すものががらりと変わったので、10年後という想像ができないところがあります。もともとテレビの編集や制作に興味があり、映像を作りたいと思っていました。制作会社でアルバイトもしましたが、映像よりも学部で学んでいたICT教育やアクティブラーニングなど、新しい教育の在り方に興味が湧き、卒業後は教育関連の会社に就職が決まっています。2年次にロサンゼルスに留学し、異文化に触れる機会がありました。留学で学んだことや、これまでに得た映像の知識を、デジタル教材などの制作にも生かしてほしいと思います。



社会安全学部 安井 達哉 さん

就職先の市役所で、10年後には危機管理課で働くことが目標です。市の現状や課題を分析した上で、市民の安全・安心につながるような防災に関する業務を担当し、社会安全学部での消防・防災・行政に関する研究を生かしたいと考えています。「安井ならこの仕事をやり遂げるだろう」と信頼される人になりたいです。また、プライベートでは20代で結婚し、自分の家族を持ってみたいです。働いているときと大変なこともあると思いますが、家族がいることでさらにがんばれると思います。

社会安全学部 植竹 遥 さん

卒業後は食品会社への就職が決まっています。32歳の私は、上司や部下から信頼され、生き生きと社会で活躍してくれていたらいいなと思います。ゼミの防災活動を通して、誰かを大切に思う気持ちが、人の命を守ろうとする行動につながることを学びました。近藤先生には感謝の気持ちでいっぱい、ゼミ生みんなのことが大好きで、学生時代のすべてが楽しい思い出です。社会人になると、大変なことやつらいこともあると思いますが、そんな時には「学生時代を思い出して。今の私も全力で楽しもう!」と声を掛けたいです。



人間健康学部 島 望美 さん

10年後の私は、小学生から習い始めたヒップホップダンスを続けていて、結婚・出産を経て2人の子どものお母さんになってみたいです。ダンスを始めたきっかけは、幼稚園のお遊戯会で「踊るのがすごく上手だね」と、担任の先生に褒められたことです。就職活動の時期に、自分のしたいことが分からなくなって道に迷いましたが、母のアドバイスで保育士を目指することに決めました。保育士の資格を取得していないので、現在勉強中です。子どもたちの夢をかなえるきっかけをつくれるような保育士になりたいです。



総合情報学部 加藤 篤貴 さん

働くことは大変でつらいと聞きますが、楽しくないと続けられないと思うので、毎日が楽しい、仕事を楽しいと感じられるように取り組んでほしいと思います。サッカーを小学校から高校まで続け、大学ではキーパーコーチとして母校のサッカー部で指導をしてきました。体を動かすのが好きで、スポーツジムのアルバイトを4年間してきました。社会人になって体も動かす趣味を見つけて、仕事もプライベートも充実してほしいです。無理はしないと健康的に気を付けてほしいです。



人間健康学部 木下 仁志 さん

卒業後は福祉関係の仕事に就きます。アルバイトやボランティアで障がいのある方と接する機会がありますが、言葉でコミュニケーションをとることが難しくても、体や音楽で伝えたいことを表現して意思疎通ができると学びました。どんな仕事でも、まずは自分が楽しめたら、きっとその気持ちは相手にも伝わると信じています。既存の方法にとらわれず、楽しみながら多くの人と関わり、ケアワーカーやソーシャルワーカーなどの幅広い職種を経験した後、福祉分野のスペシャリストになりたいです。



環境都市工学部 東 平蔵 さん

4月からは大学院に進学予定で、卒業後は数学の教員かシステム系の企業でプログラムの開発に携わりたいと考えています。数学という計算のイメージが強いですが、言葉的なニュアンスもあり、それを理解して使うところが面白いです。誰が見ても納得ができる、完成された論文は隙がなくきれいで、数学は答えが一つしかないということも魅力です。教員には憧れがあり、プログラムの開発はより自分を高めることができると思います。どちらの仕事にしても自分にとって数学は無くてはならないものです。



環境都市工学部 森 直紀 さん

卒業後は大学院に進みます。ゲームが好きなので、将来はIT関連の企業で働くか、プログラマーになりゲーム制作に携わりたいです。また、幼い頃から祇園祭のお囃子はやしをしています。4年次に鉦かねから笛になることができました。なかなか音がでず苦戦しましたが練習を重ねて音がでるようになりました。お囃子は祖父から引き継がれてきたので、子どもができたなら一緒に演奏したいです。10年後は仕事だけではなく趣味やプライベートも充実させ、大人になって「こういう自分になれてよかったな」と思える大人になりたいです。



システム理工学部 山崎 大河 さん

卒業後はシステムエンジニアとして勤務します。一人前になるまで約5年ほどかかると言われている職種のため、業務経験を積み多くの専門知識を身に付けて、エンジニアのスペシャリストになりたいです。プライベートでは20代で結婚し、早く子どもを持てたらと考えています。そして、研究で大きな成果を上げて、自分の家族と両親にぜひたくさん暮らしをさせてあげたいです。



システム理工学部 國丸 楓 さん

卒業後は、技術職としての就職が決まっています。技術職には、研究開発や技術営業等の職種があります。今はどの職種に決まるか分かりませんが、幅広い職種に携われたらと思います。社会人になることに不安もありますが楽しみでワクワクする気持ちの方が大きいです。将来的には海外拠点での勤務を希望しているので、入社後数年間は専門的な技術を身に付けるのと同時に、海外勤務に向けて英語を勉強します。そして、できたら結婚し、大変だと思いますが家事と仕事を両立し、一人の女性としてステップアップしていきたいと思います。



化学生命工学部 金澤 正晃 さん

卒業後は大学院への進学が決まっています。10年後の自分に一番伝えたいことは「どんな道に進んでいたとしても、置かれている状況で常に向上心を忘れず、前向きに物事に取り組んでほしい」という思いです。修了後の社会人としての生活では、きつとつらいことや苦しいこともたくさんあると思います。そんなときこそ家族や友人とのつながりを大切にして、「これ乗り越えた先に待っているもの」を想像し逃げずに挑み続けてほしいです。



化学生命工学部 佐野 杏奈 さん

5歳から17年間続けているバレエのレッスンに、週5日通っています。卒業後は、大学院に進学し、乳酸菌に関する研究を続けます。その研究では、結果を踏まえて次にどう進めるかを考え、最終的な目的を意識して取り組んでいます。10年後の私も、大好きなバレエを続けてほしいと思います。そして、やりがいのある仕事に就いて、学生時代に身に付けた多くの知識と経験を生かし、努力を惜しまずがんばってほしいです。どんな状況でもできるだけ笑顔で明るく過ごし、周りを支えられるような存在になりたいと思います。





労働時間の上限(法定労働時間)は1日何時間でしょうか?
(休憩時間を除く)

- ① 6時間 13人
- ② 7時間 12人
- ③ **8時間** **298人**
- ④ 9時間 19人

正解

③ 8時間

労働時間が6時間を超え8時間以内の場合、休憩時間は何分でしょうか?

- ① 30分以上 150人
- ② 35分以上 3人
- ③ 40分以上 27人
- ④ **45分以上** **162人**

正解

④ 45分以上

法定労働時間を超える労働・深夜労働(深夜労働:午後10時~午前5時)の場合、支払われる賃金は通常賃金の何割増でしょうか?

- ① 1割5分以上 99人
- ② 2割以上 87人
- ③ **2割5分以上** **143人**
- ④ 3割以上 13人

正解

③ 2割5分以上

労働時間の上限(法定労働時間)は1週何時間でしょうか?

- ① 35時間 15人
- ② **40時間** **258人**
- ③ 45時間 54人
- ④ 50時間 15人

正解

② 40時間
(商業などの一部の業種や事業場の規模を除く)

8時間を超える労働の場合、休憩時間は何分でしょうか?

- ① 50分以上 4人
- ② **60分以上** **313人**
- ③ 70分以上 12人
- ④ 80分以上 13人

正解

② 60分以上

法定休日(1週1休又は4週4休)に労働した場合、支払われる賃金は通常賃金の何割増でしょうか?

- ① **3割5分以上** **200人**
- ② 4割以上 91人
- ③ 4割5分以上 17人
- ④ 5割以上 34人

正解

① 3割5分以上

大阪府の労働時間1時間あたりの最低賃金はいくらでしょうか?
(2017年9月30日時点)

- ① 907円 41人
- ② 908円 63人
- ③ **909円** **139人**
- ④ 910円 99人

正解

③ 909円

【アンケート期間】2017年12月14日~2018年1月15日
【対象】関大生 【回答者】342人
今号は卒業記念特別号ということで、アルバイトをしている(していた)皆さんや4月から社会人になる4年次生に労働法について考えてもらいました。

塾講師をしていた頃、授業時間に対してしか給与が支払われなかった。授業以外にも書類の作成やミーティングなどがあり、少なくとも毎回30分、1時間以上時間をとられることもあったが給与は発生しなかった。これに疑問を感じ、労働基準監督署に問い合わせると、「塾講師などは授業のみの委託業務という契約になっていることがある」と回答が得られた。時間当たりの賃金が最低賃金以下となるのが嫌だったため、辞めた。

▶理工学研究科M2

有給が使えないと言われたので、マネージャーに話して雇用契約の際の書類を確認した。

▶社会安全学部3年次生

働いた分の給料が支払われていなかったため、担当者に連絡を取って、給与明細を出してほしいと伝えたが、ないと言われた。給与明細を出さないのは違法であるので、労働基準監督署に報告しますと言ったら不足分が支払われた。

▶システム理工学部4年次生

勤務時間外労働が多かった。どうすることもできなく、最後はアルバイトを辞めた。

▶外国語学部2年次生

資格試験のため、前もって休むと言っていたのに、シフトに入れられた。アルバイトが原因で体調を崩したので、早めに辞めたい旨を伝えたが、人手不足のため1カ月延ばされた。

▶文学部3年次生

週3からで1日6時間でOKと聞いていたのに、実際は休憩1時間を含む9時間拘束。学業に支障をきたすと思った段階で辞めた。

▶総合情報学部4年次生

アルバイト先で帰る時間を勝手に決められて、まだ仕事が終わっていない(時間内には終わりきれない)のに、勝手にタイムカードを切られていた。これ以上ここで働きたくないと思い、アルバイト先を変えた。

▶社会学部1年次生

不当解雇されかけた。何の理由も説明されず、いきなり翌日から来なくていいと電話で告げられ、納得がいかず、ブラックバイトユニオンに電話で相談。撤回してもらった。

▶文学研究科M2

以前、パン販売のアルバイトをしていた。パンの販売もしつつドリンクやデザート業務もこなさなければならなかった。販売に2人いると少し余裕を持てるくらいの忙しさにもかかわらず、繁忙期でさえ、1人で業務をしないといけなかった。さらに、7~8時間無休憩労働が日常的で、試験前に休みの希望を出すのが嫌みを言われた。この状況に耐えかねて辞めた。

▶法学部1年次生



PROFESSOR'S COMMENTS
法科大学院 川口美貴教授

基本的なワークルールについて、関西大学のかなり多くの学生が正しい知識を持っているようで、少しほっとしました。共通教育科目の「基礎から学ぶワークルール」等の授業の成果であればとてもうれしいです。と同時に、トラブル例を見ると、法律で定められたワークルールが実際

には守られておらず、労働条件やブラックバイトで悩んでいる学生がとても多いということが改めてよく分かりました。本当に心が痛みます。アルバイトのみならず、卒業後の就職先を検討し働いていく上で、まずは法律で定められたワークルールの内容を知ることがとても大切です。就職活動が始めるまでにしっかりと学んでください。また、労働条件で分からないことがあったり、トラブルが起きたら、一人で悩まずに、労働基準監督署、労働局といった国の機関や労働組合(ユニオン)にぜひ相談してください。

次回のテーマは...「読書について」

皆さんは本を読んでいますか? 電子書籍を含む読書が、どのくらい関大生に定着しているかアンケートを通して探ります。また、4月から始まる図書館の新サービスも紹介! 乞うご期待ください。

3月号「関大誌上教室」アンケート
プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「働く人のためのワークルール」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(3月16日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

多彩な国際化戦略

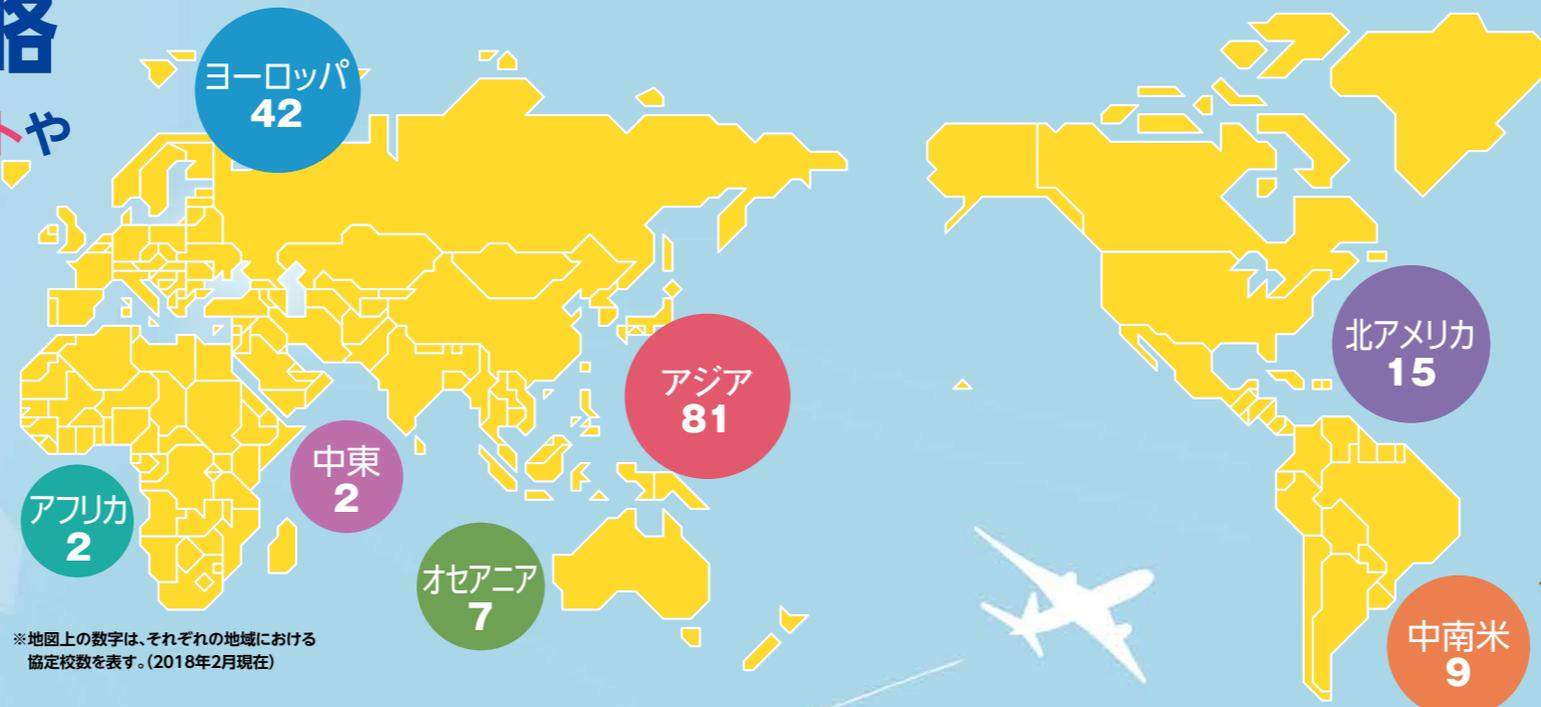
—ヨーロッパとの連携コンサートや日本武道の紹介

関西大学はグローバルな人材を育てようと、多彩な戦略を展開しています。例えば、海外には、158校の協定校(2018年2月現在)と、ベルギー・ルーヴェン大学内の「関西大学日本・EU研究センター」など5カ所の国際拠点が存在します。そこからどんな活動が生まれているのか、いくつかの事例を紹介します。

発端はささやかな文化財情報

ヨーロッパ最古の大学の一つで、ドイツでは最多の学生が学ぶケルン大学などと協定を結んでいます。そのケルン大学のフランチスカ・エームケ教授から2006年9月、関西大学に貴重な情報が寄せられました。「オーストリア・グラーツ市にあるエッゲンベルク城博物館に日本のものらしい屏風が保存されているが、この屏風は豊臣期の大坂を描いた屏風ではないか」というのです。

この情報をもとに関西大学とオーストリア・シュタイヤマルク州立博物館ヨアネウム、大阪城天守閣の3者が本格的な調査研究を



始め、この屏風が大坂夏の陣で焼失する前の大坂を知る上で歴史的価値のある作品であることが分かりました。

豊臣期大坂図屏風の面白さは、こうした研究成果の発表にとどまらなかった点です。ケルン大学の情報から10年後の2016年8月、大阪市内のフェスティバルホールで、この屏風をテーマにした新曲などのコンサートが行われたのです。新曲を奏でたのは、オーストリアからやってきたグラーツ・フェスティバルストリングスの面々で、

この後関西大学交響楽団などもステージに上がり、アントニン・ドヴォルザークの「交響曲第6番」などを演奏し、客席の約2,000人を魅了しました。

コンサートには前例のない「おまけ」もありました。本格的なクラシックコンサートでは初めてですが、舞台の緞帳(どんちょう)を下ろしたまま演奏されたのです。緞帳には鮮やかな大坂図屏風が描かれ、聴衆は聴くだけでなく目で400年前の大坂を想像しながら「見るコンサート」を楽しんだのです。

10年の歳月と9,000キロの時空を超えて、ささやかな文化財情報が大きな文化交流に結実した貴重なケースです。



豊臣期大坂図屏風コンサート

台湾で日本武道の授業

海外拠点の活動も活発です。例えば台湾オフィスのある協定校の正修科技大学では昨年9月、短期集中型のプログラムを行いました。二日間にわたり、関西大学国際部のアレキサンダー・ベネッ



正修科技大学で日本武道を指導するアレキサンダー・ベネッ教授(写真左)

ト教授が日本武道について講義・演武・実技練習を行い、台湾の大学生を中心とした32人が参加しました。

ニュージーランドで生まれ育ったベネッ教授は、国際部で歴史社会学、武道学の研究に取り組み、剣道教士7段、なぎなた5段の腕前をもつ国際的に名高い武道家です。過去には、世界なぎなた選手権で準優勝を果たし、剣道のニュージーランド代表監督としてチームをベスト8に導いた実績もあります。

プログラムの初日は、日本武道の歴史や理論を講義し、その後剣道やなぎなたの模範演技を披露しました。2日目は剣道の実技指導をしました。台湾では剣道が結構盛んで、正修科技大学の教員や現地で剣道をたしなんでいる方々の協力のもと、実技のために用意した竹刀を全参加者にプレゼントしました。

バンコクで留学生交流

一方、タイ・バンコクでも昨年9月、現地の校友会支部「泰国千里会」約20人の協力を得て、バンコクに短期留学中の学生と関西大学に留学経験のあるタイの学生約25人が参加し、グローバルな人材を目指すワークショップを開きました。

まず海外でのビジネス経験の豊富な泰国千里会のメンバーが講演した後、関西大学国際部の池田佳子教授の司会のもと、参加した学生はグローバルなビジネス現場で活躍する先輩にさまざまな質問を投げかけていました。



バンコクでのワークショップ

学部・研究科ピックアップ

法学部／法学研究科

1991年関西大学法学部卒業生から

卒業生の皆さん、学士の学位を取得し、卒業の日を迎えられたことに心からお祝いを申し上げます。これまでの皆さんの努力をたたえ、敬意を表したいと思います。皆さんは、これからそれぞれ違った進路を歩まれることとなります。大学を卒業する日は、その始まりの日でもあるといえます。皆さんが、今後、それぞれの研究や社会での職務にますますまい進されること、そして、皆さんの未来に幸多きことを心より祈念致します。卒業、誠におめでとうございます。

(教学主任 佐伯和也教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

卒業後も人文学の森で森林浴を

入学と同時に人文学という深い知の森に分け入った卒業生の皆さんは、今まさにその出口に立っています。これまでに目にしてきたのは、広大な森の中のほんの一部の風景に過ぎないかもしれませんが、とにかく皆さんは、時折道に迷い、周囲の助けを得ながらも、自分の力でここまでたどり着きました。人文学は、問題の根源に立ち返って考え自ら答えを導き出す力、あらゆる専門性の基礎を養ってくれます。卒業後も、人文学の森に時々立ち寄り、森林浴を楽しんでください。

(副学部長 多賀太教授)

経済学部／経済学研究科

自信を胸に、新たな挑戦を！

卒業おめでとうございます。4月からの新生活を心待ちにされていることと思います。皆さんは、卒業論文を完成させたという大きな宝を持って卒業されます。その執筆では、自分が何をやりたいかを考え、先行研究を調べ、それに対してどのようにアプローチすれば良いかを考えるなど、先生やゼミの仲間との議論を通して、苦労しながらもより良いものに近づけていったのではないかと思います。社会で困難に出会った時にも、この貴重な経験を思い出し、自信を持って、乗り越えていってください。

(学部長 谷田則幸教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

商学部卒業生の皆さんへ

商学部の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。商学部では、実学教育を学部教育の根幹と考え、グローバル化・情報化時代に対応できる人材の育成に力を注いできました。多くの卒業生はビジネスの世界で活躍されますが、社会の一員として活躍できる判断力と識見を有する人材として活躍されるはず。今振り返ってみれば、充実感・達成感もあれば、悔いや反省もあったことでしょうか。卒業後も知的好奇心の羽根をいっぱい伸ばして、大きくキャリアアップされることを願っています。

(学部長 乙政正太教授)

社会学部／社会学研究科

卒業論文を書き上げるということ

ゼミでは今年度も18本のユニークな卒業論文が出揃いました。たとえばペットロボットの家族化現象、衣装から見たアイドル史、マンガに描かれる料理の表現論、コンサート応援グッズのコミュニケーション論、競馬場のメディア論、等々。1年かけて文献資料収集とフィールドワークを行い、何度もダメ出しされながら必死に書き上げた1本の論文は、皆さんの大学生活の総括です。そして考え抜く力と、山を登りきった人だけが味わえる見晴らしの良さこそは、皆さんが手に入れた財産です。心より卒業おめでとうございます！

(副学部長 村田麻里子教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

社会にはばたく卒業生へ

卒業おめでとうございます。大学からの卒業は、自立した職業生活への第一歩です。それは多くの義務を果たし、自己責任を担っていくことです。こうした義務や責任を一つ一つ果たしていくことが、周囲から信用される財産になります。大学で身に付けた専門知識や思考方法、そして定見を生かして、貴重な財産を築き上げてください。皆さんのさらなる飛躍を大いに期待しています。

(副学部長 石田成則教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

卒業・さらなる飛躍への機会

経営コンサルタントの大前研一氏は、自分を変革する方法は三つしかなくて、一つ目は日々の「時間配分を変えること」、二つ目は「住む場所を変えること」、三つ目は「付き合う人を変えること」と言っています。卒業後の就職や進学は、多くの人にこれら三つの変化を必然的に経験させます。つまり、卒業というのは、新たな自分を作るターニングポイントを意味します。せっかくのこの機会を無駄にせず、これまでの自身の生活を見直して、さらなる飛躍の機会にしてほしいと思います。

(副学部長 守崎誠一教授)

人間健康学部／人間健康研究科

弛まぬ成長が伝統をつくる

人間健康学部は、この3月に5期生が卒業します。1学部だけ堺にあるため、在学時には苦労があったかもしれませんが、一番苦労したのは、校舎が半分工事中だった初年次を経験した1期生でした。その彼らは現在、立派に成長して、各界で活躍してくれています。1期生の活躍は、彼ら自身の「未知のものに挑戦する姿勢」がもたらしたものです。9年目を迎える人間健康学部も、卒業生に負けないチャレンジ精神を持って、さらなる発展を目指します。卒業生諸君、お互いがんばりましょう！

(副学部長 西山哲郎教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

理工系を卒業・修了するにあたり

今年はシステム理工学部約500人、環境都市工学部約350人、化学生命工学部約350人の大学院生が修了します。本当に卒業・修了おめでとうございます。大学に入学してから最初の3年間は高校時代とあまり変わらない、知識を吸収することが主であったことでしょう。しかし、4年次以降は知識の吸収も必要ですが、それ以上に自分のやっていることが世界の最先端であり、まだ誰も答えを見つけていないことへの挑戦であったはず。すなわち、自分たちが新たなシステム、概念、現象、機能、物質、分子などの発

見者であり創造者であったはず。それまでの答えがあった世界から、答えがあるのかないのかさえ分からない世界で研究することは楽しみであると同時に苦しみであったと思います。しかし、これから実社会に出ていくと何が正しくて何が間違っているのか。その方法が一番いいのか、他の方法がいいのか。それこそ答えのない、もしくは答えが一つでない世界での本当の戦いが始まります。研究や技術に関することだけでなく、人間関係などさまざまな問題が起こることでしょう。それらの問題は一人で解決できることもあれば、他人の力が必要なこともた

くさんあります。そんな時、関西大学にはたくさんの知恵を持った教職員がいます。同じ時間を過ごした仲間として、いつでも相談に来てください。また、大学院へ進学される方は、今後もわれわれの共同研究者として一緒に未知なる世界を楽しみましょう。

(化学生命工学部副学部長 青田浩幸教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

2018年3月31日をもって関西大学を去られる専任教育職員を紹介します。

文学部	小田 淑子
	藤田 真一
経済学部	北川 勝彦
	小池 渺
商学部	伊藤 健市
	廣田 俊郎

社会学部	北村 英哉
政策創造学部	松元 雅和
外国語学部	石原 敏子
	染谷 泰正
総合情報学部	伊藤 光利
	江澤 義典

総合情報学部	加藤 敏幸
	本多 佑三
システム理工学部	田原 樹
法科大学院(法務研究科)	川口 浩一

(敬称略)
大変お世話になりました。ありがとうございました。



(アメリカンフットボール部顧問 水村龍哉)

19年ぶりのクリスマスボウル出場

アメリカンフットボール部が、12月23日に行われた第48回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会決勝戦(クリスマスボウル)に出場しました。試合当日、試合会場である富士通スタジアム川崎の観客席は立見が出るほどの超満員、当スタジアム史上最高の観客動員を果たした試合でした。試合には負けてしまいましたが、9月から12月までに8試合をこなし、最終的に全国準優勝までを上り詰めた選手たちの姿は本当に誇らしいものでした。

(アメリカンフットボール部顧問 水村龍哉)



(アメリカンフットボール部顧問 水村龍哉)

関大トピックス

卒業生の皆さんへのお知らせ

■校友としての図書館利用について

卒業生の方は、手続きをすれば卒業後も関西大学の図書館を利用できます。詳しくは図書館ウェブサイトの「卒業生・学外の方へ」(<http://opac.lib.kansai-u.ac.jp>)をご確認ください。

問い合わせ先 図書館メインカウンター
電話:06-6368-0266

■「進路決定報告」と後輩の就職支援サポートにご協力ください

卒業後の「進路決定報告」がまだの方は、至急キャリアセンターまで報告をお願いします。

その際、OBOG訪問の同意の可否についても、同意のご協力をお願いします。

なお、卒業後も就職活動を続ける卒業生へのサポートも、株式会社マイナビワークスと連携して引き続き行っています。お気軽にご相談ください。

問い合わせ先 キャリアセンター/
卒業生就業支援室
電話:06-6368-0347

■資格取得で卒業生のキャリア形成を支援

エクステンション・リードセンターでは、各種資格取得を通して皆さんのキャリア形成をサポートするために、一般の方より安価な卒業生料金で受講できる対策講座を多数開講しています。思い立った際には、ぜひエクステンション・リードセンターへ詳細をお問い合わせください。

また、英語で学ぶビジネス講座、UCLA Extension 提携オンライン講座を実施しています。詳細は <https://www.kansai-u.ac.jp/extension/unexonline/> をご確認ください。

問い合わせ先 エクステンション・リードセンター
電話:06-6368-0721

■奨学金の返還について

奨学金の貸与を受けていた皆さん宛に、返還の期日が近づくと、「振替案内」などが送付されます。返還関係書類が届かないことがないよう、卒業後に住所・氏名・連帯保証人の変更などがあれば、変更届を提出してください。皆さんからの返還金は、後輩の奨学金として直ちに利用される仕組みとなっている事を理解いただき、延滞のないよう注意してください。

奨学支援グループ
問い合わせ先 電話:06-6368-1121 (大代表)

■卒業後もセミナーハウスを利用できます

卒業後は校友となる皆さんは、関西大学のセミナーハウスである彦根荘(滋賀県)、白馬梅池高原ロッジ(長野県)、六甲山荘(兵庫県)を利用することができます。利用を希望する方は、電話でお問い合わせください。関西大学のウェブサイトから、案内、利用状況を確認することができます。

関西大学教育後援会
問い合わせ先 電話:06-6368-0055

■校友会の輪にご参加を

校友会は、46万人を超える卒業生と学生会員で組織され、会員相互の交流と母校の発展に寄与することを目的としています。校友会は、学生の学術・文化・スポーツの振興を積極的に支援し、また、さまざまな親睦行事も行っています。卒業後の皆さんの住所などは学校法人からの委託を受けて校友会が管理・運営し、大学と共同利用しています。住所が変わった場合には、校友会事務局までご連絡をお願いします。

関西大学校友会
問い合わせ先 電話:06-6368-0045

平昌五輪に出場した 体育会アイススケート部の 宮原知子さんが4位

2月9日～25日に韓国・平昌で開催された、第23回オリンピック冬季競技大会に、フィギュアスケート女子シングル日本代表として出場した、体育会アイススケート部の宮原知子さん(文2)が4位に輝きました。宮原さんは、21日のショートプログラムで75.94点、23日のフリースケーティングで146.44点の合計222.38点をマークしました。オリンピックという初の大舞台で自己ベストを更新する見事な演技を披露した宮原さん。3月19日(月)にイタリア・ミラノで開催する、世界フィギュアスケート選手権大会2018にも出場を予定しています。引き続き応援をよろしく願います!



平昌五輪で
演技する
宮原知子さん

写真提供：
関大スポーツ
編集部

体育会サッカー部の鈴木拳士郎さんが Jリーグ・カマタマーレ讃岐に入団決定

体育会サッカー部の鈴木拳士郎さん(人4)が2018シーズンからJリーグ・カマタマーレ讃岐の選手として加入することが決定しました。

鈴木さんは、守備的MFでピッチ全体のバランスを見た、的確なポジショニングができ、攻守ともに高いレベルでこなすマルチプレーヤー。守備の時にはフィジカルを生かして相手のボールを奪い、一方、攻撃時には素早いボール展開から前線の選手たちとコンビネーションを織り交ぜ、決定的なパスから得点を演出することが可能です。

鈴木さんは、「このたびカマタマーレ讃岐に入団することになり、幼い頃からの夢が大変うれしく思います。そして、今まで関わってくださったスタッフの方々、仲間、支えてくれた家族、全ての方々に感謝し、プロの舞台でもがんばりたいと思います。応援よろしく願います!と抱負を語りました。



写真提供：関大スポーツ編集部

関大人 四方山話 ◆「気づきと周辺視野」

よもやまばなし



気がつくとか気がきくとは、何かあることに気づき対処することにより状況をプラスに転じられるようにすることだろう。それに対し神経質とは、それに気づいてもどうしようもないことにとらわれてしまい、状況をますます悪くしてしまうことだろう。

例えば、スポーツ選手は次々と場面が変わるなかで、気を働かせながら状況を打開するプレーを繰り返している。政治家や経営者も社会状況での諸問題に気づいて、適切な対処を心がけている。取り

巻く人々の思いや世の中の状況が雰囲気や空気を作りだしている

ので、それに気づくことにより、状況を好転させる可能性が高まる。ところで、気がみなぎると言うように、気は人間の内部から生み出される面もある。古来、気のもとには万物に含まれ、それが凝集すれば勢いをもたらす、離散すれば勢いは失われるという考え方がある。気を散らすことなく、万事に元気よく対処したいものだが、気合いを入れ過ぎて周辺視野が狭くなる可能性もありそうである。

編集後記

今年の卒業記念特別号では、「10年後の私に贈るメッセージ」を特集しました。各学部を巣立つ学生たちが、思い思いに自分の未来を語ってくれました。10年後というと、西暦2028年。どんな社会になっているのか、誰にも想像できません。思い描いていた道とは異なる方へ進んでいる人もいるかもしれません。けれど、その道もまた人生です。2028年のある日、ふとしたきっかけで卒業生たちが本号を手に取り、10年前のメッセージを懐かしんでくれるとうれしいです。

(広報委員・社会学部助教 松山秀明)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2018年3月16日(年9回発行)
発行:関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話:06-6368-1121(大代表)